

トピックス編

1 表彰

(1) 院内表彰

【感謝状贈呈】(平成30年3月22日)

・Dr. サトリとなかまたち

(理由: 楽しいぬりえの提供は子ども達を楽しませ沢山の笑顔を与え、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・NPO法人 絵本カーニバル

(理由: 絵本の展示などを通じて子ども達の想像力を育み絵本の素晴らしさを教え、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・NPO法人 子ども文化ステーション

(理由: 魅力的な劇や演奏は子ども達に沢山の笑顔と感動を与え、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

(理由: 青い目のサンタの訪問活動は子ども達に沢山の夢と笑顔を与え、療養環境の向上に大きく寄与した。)

・カリヨン文庫

(理由: 長年にわたり本の読み聞かせの活動を通じて子ども達の心を豊かにし、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・NPO法人クッキープロジェクト おかし屋マーブル

(理由: 子ども達やご家族に心安らぐ憩いの場を提供し、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・公益社団法人日本動物病院協会 七里動物病院 中村 悟

(理由: 長年にわたるセラピードックの活動は子ども達に動物の魅力を伝え沢山の笑顔を与え、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・病院ボランティアの会

(理由: 子ども達やご家族に安心と笑顔を与え、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・NPO法人 日本ホスピタルクラウン協会

(理由: 長年にわたるホスピタルクラウンの活動は子ども達に驚きや笑顔を沢山与え、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・ドナルド・マクドナルド・チャリティーズ・ジャパン

(理由: 訪問活動は入院中の子ども達を楽しませ沢山の笑顔を与え、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)

・ドナルド・マクドナルド・ハウスさいたま

(理由: 入院中の子ども達と家族に暖かいくつろぎの時間を提供し、子ども達の療養環境の向上に大きく寄与した。)



(2) 知事表彰 (平成 30 年 1 月 10 日)

【永年勤続表彰】

- ・ 30 年表彰 ① 円谷 恭子 ② 恵田 成幸 ③ 榎本 英雄 ④ 細渕 宏美
⑤ 大堀 典子 ⑥ 奈雲 和子 ⑦ 矢口 伸子
- ・ 20 年表彰 ① 田中 宏 ② 細井 千晴 ③ 植草 真由美 ④ 花町 芽生
⑤ 近藤 美和子 ⑥ 荻野 美和子 ⑦ 浅見 幸恵 ⑧ 石塚 恭子
⑨ 林 桂子 ⑩ 木村 陽子

2 ボランティア活動

(1) 病院ボランティア

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
病院ボランティア	2017年	患者、家族の案内等	月～金曜日：外来等

(2) 外部団体による定期的な病棟内ボランティア活動

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
カリヨン文庫	1986年	本の読み聞かせ・貸し出し	毎週木曜日、第2・4火曜日：病棟
ホスピタル・クラウン	2012年	クラウンの病棟訪問	月2回：病棟
セラピードッグ	2013年	セラピー犬による病棟訪問	月1回：病棟

(3) 外部団体によるイベント

ボランティア名	活動日	活動内容
ホスピタル・トイ・キャラバン ～移動おもちゃ美術館～	平成29年10月6日(金)	グッドトイのあそび体験 病棟・外来での実施
ミニバレエ公演	平成29年10月25日(水)	外来ラウンジでのバレエ体験
ストリングラフィ・アンサンブル コンサート	平成29年11月22日(水)	オリジナル楽器によるコンサート 病棟向けに実施
マクドナルド ドナルド君訪問	平成29年11月30日(木)	ドナルド君の病棟訪問
青い目のサンタさん訪問	平成29年12月12日(火)	NPO法人難病のこども支援全国 ネットワークによるサンタ訪問
大道芸フェスティバル	平成30年1月5日(金)	大道芸人によるパフォーマンス 外来で実施
人形劇団のはな公演	平成30年1月31日(水)	病棟向けの人形劇公演
笑顔のアートプロジェクト	平成30年3月9日(金)	黒田征太郎さんを迎えての、病棟 向けのお絵かきイベント

3 「養護の会」各種イベント

6月下旬～7月7日

「七夕飾り」

7月下旬～8月中

「夏祭り」

12月中

「クリスマスツリーの飾り作り、飾り付け」

患児、看護師、保育士でクリスマスツリーの飾り作り、飾り付けを行う。

「病棟クリスマス会」

これらの事業は、長期入院などで外に出ることのできない子ども達の生活に潤いを与えたいと、医療スタッフや職員からなる「養護の会」が企画、協力したものである。

4 院内保育

(1) こども広場

院内保育室は、平成29年度で17年目を迎え、ホームページ、病院案内、利用者からの紹介などで、入院患児の御家族への認知度が高まっている。

利用対象者は、当センターに入院している患児者の兄弟姉妹であり、2歳6ヶ月から6歳までの未就学児である。

対象外保育として、1歳から2歳5ヶ月以下のお子さんや小学生は病棟から対象外依頼書を発行し、保育可能の了承があった場合のみ保育を行っている。

また、緊急を要する場合は、外来看護師長の了承があれば、外来の保育も行っている。

毎日の保育では、日々違うお子さんやキャンセルが入ることもあり、当日にならないと利用者、人数が確定せず、一貫した保育は難しい状況にある。

節分やおひなさま、七夕など季節の行事には、飾りつけの製作を行っている。

特にクリスマス会は、年に一度の行事として位置づけ、歌を歌ったり、毎年保育士による出し物やゲームを楽しみ、手作りおもちゃをプレゼントし、好評を得ている。

利用者の推移

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人数	1,310人	776人	848人	703人	915人

平成28年度利用者の月齢構成

年 齢	人 数	構 成 率
2歳6ヶ月未満	93人	10.1%
2歳6ヶ月～2歳11ヶ月	126	13.7
3歳	196	21.4
4歳	109	11.9
5歳	163	17.8
6歳	215	23.4
就学児	8	0.8
外 来	5	0.5
計	915	100.0

(2) かりよん保育園

当センターの医師や看護師等の定着と確保を図るため、旧病院長公舎を改築し、病院職員の乳幼児を預かる院内保育施設を、平成21年4月1日に開設した。また、移転に伴い、平成29年1月には、新病院内に隣接するさいたま赤十字病院と共用する保育施設をオープンした。保育対象の子供は産後休暇・育児休業取得後の0歳児から小学校就学前まで、保育時間は午前8時から午後6時（前後に各1時間の延長あり）まで、定員は50名（各病院25名）、保育園の運営は民間業者に委託で行った。

平成28年度は、1年間で医師11名、看護師13名、コメディカル1名の計25名が、平成29年度は、1年間で医師12名、看護師6名、コメディカル3名の計21名が利用した。

また、夜間保育については昨年度に引き続き週3回（月、水、金）行っている。

埼玉県立小児医療センター 歌

さんぼく たけし 作詞
 巖 のぼる 作曲
 川越 徳子 編曲

The musical score is written for voice and piano. It consists of seven systems of staves. The first system shows the vocal line and piano accompaniment. The second system includes lyrics: くさのもえをむさしのにるやめなおいのちをこどもらへともいえる. The third system includes lyrics: のいきりょうをさきげんとあつまたのさんりょうをいれまじすかん. The fourth system includes lyrics: らしょうにセンターここにありしょう. The fifth system includes lyrics: にいりょうセンターここにありましり. The score includes dynamic markings like 'f' and 'V' (crescendo), and repeat signs with first and second endings.

埼玉県立小児医療センター 歌

さんぼくたけし

若草萌える 武蔵野に
 病める幼き 子どもらへ
 愛の医療を 捧げんと
 集り参じて 灯をともし
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

真白の富士を 仰ぎ見る
 幼き生命を 救わんと
 燃える希望と 情熱で
 明日の医療を いま築かん
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

(平成2年4月 職員有志により作詞、作曲された)

発 行 平成 31 年 2 月
編集発行 埼玉県立小児医療センター
埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 2
電話 048 (601) 2200 (代表)
FAX 048 (601) 2201
印刷製本 株式会社 日本ルーベックサプライ

